

2020年7月28日

各 位

会社名 キヤノン株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 CEO
御手洗 富士夫
コード番号 7751
上場取引所(所属部) 東京、名古屋(以上第一部)
福岡、札幌
問合せ先 連結経理部長
谷野 幸穂 (TEL.03-3758-2111)

業績予想および剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ

当社は、2020年4月23日に公表した「2020年12月期 第1四半期決算短信[米国基準](連結)」において未定としておりました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2020年7月28日開催の取締役会において、2020年6月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2020年12月期通期 連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	3,080,000	45,000	70,000	43,000	40.96
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2019年12月期)	3,593,299	174,667	195,740	125,105	116.93

(2) 公表の理由

2020年12月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症に関する影響額について、合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報をもとに業績予想を算定し、上記の通り公表いたします。

(3) 業績予想の前提条件

新型コロナウイルスの収束時期は見通せないものの、経済活動は徐々に再開しており、世界景気は、各国・地域の財政・金融政策の効果もあり、下期は緩やかに回復するものと見ております。なお、上記予想は、現時点で入手している情報に基づき算定したものであり、様々な要因により変動する可能性があります。

2. 配当の内容

(1) 剰余金の配当(中間配当)

	決定額	直近の配当予想 (2020年4月23日公表)	前期実績 (2019年12月期中間)
基準日	2020年6月30日	2020年6月30日	2019年6月30日
1株当たり 配当金	40円	未定	80円
配当金総額	41,831百万円		85,107百万円
効力発生日	2020年8月27日		2019年8月26日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 理由

新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済は大きく後退しており、当社関連ビジネスも甚大な影響を受け、今年の業績は大幅に悪化する見通しです。

当社は、将来の成長に向けた新規事業への投資が出来る様、先行き不透明な事業環境の中で十分な資金を確保するために、中間配当金につきましては、40円とさせていただきます。なお、期末配当金につきましては、現時点で未定です。

(3) 配当予想

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		未定	未定
当期実績	40円		
前期実績 (2019年12月期)	80円	80円	160円

以上